



道標

みち

しるべ

2013/11/27

NO. 77

〈編集・発行〉

東中3年

進路指導部

私の進路選択

今回は、体育科担当の齋藤先生です。

私は、スポーツ特待生として高校に入学しました。「スポーツ特待」と聞くと、「いいなー」とか「受験生やってないじゃん」とか「楽に入れていいね」など言われることがあります。しかし、その話に来るまでには中学1年生から3年間休みなどほとんどなく練習し、夜練もほとんど毎日、遊ぶ暇など一切ありませんでした。それから私の中学の部活動は成績が落ちれば練習をさせてもらえなくなるため、時間がない中必死に勉強していました。更に大会では全て結果を残し、実績を積んできたからこそ特待生の話がきたのです。ただ、バレーボールで進学するという事は高校でも結果が求められ、怪我をしてバレーができなくなったり、辞めたりしたら終わってしまうそんな世界です。

たしかに受験勉強という勉強はしていませんがその分、引退後も卒業式のその日まで休まず朝練から午後練と練習を続け、土日は高校で練習という日々を送っていました。普通に勉強して受験した人は受験が終われば遊べるかもしれませんが。しかし、私は卒業式の次の日から高校での寮生活が始まり、その後の3年間、お盆もお正月もなく朝から晩までバレー付けの毎日でした。もちろんきついことや苦しいことばかりだったけれど、自分に負けることなく歯を食いしばってやってきたからこそ今があるし、全国大会など色々な経験もして、一番自分が成長できたのはこの

高校3年間でした。

スポーツ推薦で高校に行こうと思っている人はもう一度考えてみてください。

今が楽だからスポーツで行くと考えている人は絶対に3年間の高校生活にはついていけません。強豪校になればなるほど周りも上手な人ばかり。その中でレギュラー争いや結果へのプレッシャー、勉強など更に大変なことが山ほど待っています。

スポーツで行くということは簡単なことではありません。だからこそ高校3年間を見据えてそれなりの覚悟と責任をもって選択をしてください。



《体験入学感想》

中京大中京高校

第2志望にしようと思って見学に行きました。校舎、大学への進学指導も良かったので、もし第一希望の高校に落ちてしまってもここなら3年間通えるなと思いました。第2,3志望の学校に通う可能性もあるのだから、滑り止めでも自分の納得できる所を真剣に選ぶべきと思いました。資料と一緒に入試問題も載いて、入試が現実的に感じられました。

(G組 Sさん)

菊里高校

すごく遠かったです。遠いとは聞いていましたが、実際にいってみると思っていたよりもだいぶ遠かったです。通学となると大変だろうなと思いました。でも、遠くまで来て良かったと思えました。校舎や体育館をはじめ、校内が全体的にきれいで、私立かと思えました。坂道にあるので、登るのがつらいのと、校舎の複雑さには参ってしまいました。

(F組 Nさん)